

全体会

基調報告 三多摩学童保育連絡協議会

全体講演

一人ひとりの違いを認めあい、手つなぎすること

～学童保育の子どもたち～

講師 高橋 ヨシエ（武蔵野市指導員）

分科会

<p>第 1 分科会（交流） 学童保育の生活づくり～毎日子どもの笑顔に会えていますか？～ 助言者 小野 さとみ（町田市指導員）</p> <p>学校完全5日制で、子どもたちが学童保育で過ごす平日の時間が削られています。学童保育の大規模化は、子どもたちがゆったり過ごす空間を狭めています。学童保育を、一人ひとりの子どもたちが安全に、安心して生活できる場にするために、指導員は以前にも増した努力を求められています。指導員の悩みや工夫や喜びを交流します。</p>
<p>第 2 分科会（交流） 私が楽しい父母会 ～ともに笑いあえる仲間をつくろうよ！～ 助言者 林 正弘（三多摩連協副会長）</p> <p>「役員を決めるのが大変」「忙しいのに父母会までできない」こうした声がどこでも聞かれます。でも、「うちの父母会、元気だぞ!」「役員を引きうけて良かった」という話も聞きます。父母会活動を通じて知りあった仲間との交流が、卒所後もずっと続いているところもあります。楽しい父母会づくりの智慧や活動内容を学びます。</p>
<p>第 3 分科会（交流） 狙われる子どもたち ～子どもの危険回避のために～ 助言者 妹尾 浩也（多摩市連協会長）</p> <p>誘拐、性犯罪、殺人...、子どもが犠牲になる事件が多発している現在、「私の子どもに限ってそんなことは起こらない」と思い続けることはもうできません。ビデオ「狙われる子どもたち 子どもの危険回避マニュアル」を通して、変質者の悪質な手口の実例と子どもを守るための具体的な予防策を学習し、子どもに「何を教え」「何をしなくてはいけないのか」話し合います。</p>
<p>第 4 分科会（交流） 学童保育が消える!? ～「全児童対策」と学童保育の違い～ 助言者 古橋 正好（東京都連協副会長）</p> <p>2003年4月から川崎市では学童保育を全廃し、「わくわくプラザ」という「全児童対策」に統合しました。品川区、江戸川区などでも同様の動きが進行しています。調布市では「ユーフォー」という「全児童対策」が行われてきましたが、2004年4月より、新たに作る「ユーフォー」については、学童保育を取り込むことになりました。学童保育と「全児童対策」の違いを学びます。</p>
<p>第 5 分科会（交流） 学童保育が変わる!? ～「民間委託」のゆくえ～ 助言者 菊池 繁行（練馬区指導員）</p> <p>多摩地域のいくつかの自治体では、学童保育の「民間委託」を検討課題にした協議会や審議会が開催されています。このうち府中市の協議会では、「民間委託」を是とする答申が出されました。また、「地方自治法」の改定で導入された「指定管理者制度」も、こうした動きに拍車をかけています。多摩地域や23区の実例を通して、「民間委託」の背景や問題点を学びます。</p>

<p>第 6 分科会（講座） なぜ「運営基準」は必要か ～子どもたちのために～ 講師 森川 鉄雄（埼玉県連協事務局次長）</p> <p>法制化されたにもかかわらず、学童保育には施設に対しても指導員に対しても明確な基準がありません。「大規模化」が問題となり、「民間委託」など施策変更の動きがある今、自治体が「運営基準」を持つことが重要となっています。こうした中、都道府県で唯一、埼玉県が「運営基準」を策定しました。その経緯、影響力から、「運営基準」の必要性を学びます。</p>
<p>第 7 分科会（講座） とともに育ちあう ～障がい児といっしょに生活づくり～ 講師 妹尾 豊広（全国障害者問題研究会）</p> <p>多摩地域の自治体では、障がい児の受け入れの拡大は徐々に進んでいますが、施設面でも指導員配置でもその対策は不十分です。障がいのある子どもが学童保育の仲間として、ともに育ちあうための生活づくりとは何か、どのような働きかけが求められるかを学びます。</p>
<p>第 8 分科会（講座） 教室の子どもたち 講師 渡辺 恵津子（上尾西小学校教諭）</p> <p>「学校完全5日制」などの制度改革が学校現場に混乱をもたらし、“学級崩壊”、不登校、いじめなどの子どもたちの否定的現象が親の不安を深刻なものにしています。しかし、これらの様々な現象の奥に「人間らしく生きよう」とする子どもたちの息づかいがあることも見逃してはなりません。「教室の子どもたち」の姿を通して、子どもたちの現状と希望を見つめます。</p>
<p>第 9 分科会（講座） 子どもの心によりそって 講師 加藤 純（ルーテル学院大学助教授）</p> <p>今、大半の親は子どもとの関係づくりに悩んでいます。児童養護施設の児童指導員など現場の経験が豊富で、大学では「カウンセリングの実技の基本」を教えている講師から、子どもを育てていくうえで大切なものは何か、思春期までを見据えた子どもとの関わり方を学びます。</p>
<p>第 10 分科会（実技講座） 子どもと一緒につくって遊ぼう（手づくり工作） 講師 大上 尚之（デザイナー）</p> <p>子どもたちは、塾通い、テレビゲームなどの毎日ですが、ふれあい遊びや手づくり遊びを通して豊かに育ってほしいものです。参加者も一緒に楽しんで作ります。（持ち物は申込者のみ後日連絡）</p>
<p>第 11 分科会（実技講座） 楽しい集団遊び 講師 菅原 道彦（遊びの学校）</p> <p>学童保育の中で楽しめる集団遊びを参加者が実際に遊びながら学びます。運動できる服装でご参加ください。</p>

申込要領

申込方法 参加費と申込用紙および弁当代（必要な場合）を、以下のいずれかの方法で送ってください。

郵便振替の場合 以下の郵便振替口座に送金後、領収書と申し込み用紙をFAXで。

郵便振替 00170-4-408355 三多摩学童保育連絡協議会

郵便振替領収書&申込用紙FAX先 0424-63-7069 古谷

現金書留の場合 参加費と弁当代を申込用紙とともに下記住所まで。

現金書留送付先 〒202-0014 西東京市富士町2-1-22 古谷健太

参加費 1500円

申込締め切り 2月20日(日)

(当日受付あり。事前申し込みにより分科会会場の広さを割り当てます。満員になった場合、当日では参加できない場合がありますので、なるべく事前申し込みをお願いします。)

昼食は弁当を2種類用意しています。大人用が800円、子ども用が500円(おにぎりとおかず)です。(会場周辺には、飲食店もコンビニエンスストアありません。)

お願い

会場には駐車場が確保されています。(現地までの地図はアクセスガイドを参照)

保育室(4歳以上対象)を用意しています。おやつ代&保険料として200円程度を当日ご持参ください。申込用紙にお子様の年齢と、障がいのある場合はその旨をご記入ください。

ご自分で持ち込んだものから生じたゴミはお持ち帰りください。

弁当代と保育の申込は、締め切り(2月20日)必着厳守でお願いいたします。

お問い合わせは、事務局・古谷まで!

TEL/FAX 0424-63-7069

Eメール kenta.f@dream.com

第17回 三多摩学童保育研究集会



とき 2005年2月27日(日)

ところ 多摩大学(多摩市聖ヶ丘4-1-1)

(詳細は挟み込みのアクセスガイドをご覧ください!)

日程

9:15 10:00 12:00 13:00 16:00

受付	全体会	昼食	分科会
----	-----	----	-----

三多摩学童保育連絡協議会
多摩市学童クラブ連絡協議会

第17回三多摩学童保育研究集会 申込用紙

氏名	指導員歴	学童父母歴	参加回数	保育(必要な場合)							
	年	年	回	歳	備考						
自宅の住所 〒()	電話	自宅									
		学童保育所(市町村名も)									
希望分科会	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

参加費1500円、弁当代 円(大人 個, 子ども 個)計 円

(キリトリ線)